安全データーシート

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ブライワックス オリジナル
供給者の会社名称 : (株)リムジンインタナショナル
担当部門 :
住所 : 東京都世田谷区太子堂2-17-16

電話番号 : 0120-901-533
緊急連絡電話番号 : 03-3419-3344
ファクシミリ番号 :
作成日 : 2020/8/14

推奨用途及び使用上の制限

用途セクター[SU] :
推奨用途 : 屋内の木部用ワックス
使用上の制限 :

2 危険有害性の要約

GHS分類：

引火性液体:区分3
急性毒性　吸入（蒸気）:区分4
皮膚腐食性/刺激性:区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分2A
生殖毒性:区分1A
特定標的臓器毒性（単回ばく露）:区分1（中枢神経系）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）:区分3（気道刺激性、麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）:区分1（中枢神経系 腎臓）
水生環境有害性 短期（急性）:区分2
水生環境有害性　長期（慢性）:区分3
生殖毒性(授乳に対する又は授乳を介した影響):追加区分

注： 急性毒性経口の不明成分は21%。 急性毒性経皮の不明成分は21%。 急性毒性吸入（気体）の不明成分は21%。 急性毒性吸入（蒸気）の不明成分は21%。 急性毒性吸入（粉塵/ミスト）の不明成分は100%。 水生環境有害性急性毒性の不明成分は21%。 水生環境有害性慢性毒性の不明成分は21%。

GHSラベル要素 ：

絵表示



注意喚起語： 危険

危険有害性情報：

- 引火性液体及び蒸気 。
- 皮膚刺激 。
- 強い眼刺激 。
- 吸入すると有害 。
- 呼吸器への刺激のおそれ 眠気又はめまいのおそれ 。
- 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 。
- 授乳中の子に害を及ぼすおそれ 。
- 臓器の障害（中枢神経系）。
- 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（中枢神経系 腎臓）。
- 水生生物に毒性 。
- 長期継続的影響によって水生生物に有害 。

注意書き：

【安全対策】

·使用前に取扱説明書を入手すること。
·全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
·熱、高温のもの、火花、裸火、及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
·容器を密閉しておくこと。
·容器を接地しアースをとること。
·防爆型の[電気機器/換気装置/照明機器]を使用すること。
·火花を発生させない工具を使用すること。
·静電気放電に対する措置を講ずること。
·粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
·妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
·取り扱い後は手をよく洗うこと。
·この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
·屋外または換気の良い場所でだけ使用すること。
·環境への放出を避けること。
·保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

·皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
·皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水[又はシャワー]で洗うこと。
·吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
·眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
·ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
·暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
·気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
·皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
·眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
·汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
·火災の場合：消火するためにアルコール耐性の泡消火剤/BC-粉末消火剤/二酸化炭素(CO2)/霧状の水を使用すること。

【廃棄】
・内容物/容器を法規に従って廃棄すること。

【保管】
・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
・施錠して保管すること。

他の危険有害性 ：

・可燃性溶剤の蒸気は、特に熱処理中に密閉容器の気相に蓄積する可能性がある。 従い、火気や発火源から遠ざけること。
・この物質は可燃性であり、詳細については 節9 を参照のこと。
・換気が不十分な場所で使用すると、爆発性/引火性の高い混合物が発生することがある。
・使用中、可燃性/爆発性の蒸気-空気混合物を形成する可能性がある。

3 組成及び成分情報　混合物

成分名	濃度 %	CAS No.	PRTR種類	労働安全衛生法-通知義務	毒物及び劇物取締法	化審法整理番号	化審法対象物質
トルエン	79.13%	108-88-3	第一種	●		3-2	優先評価化学物質
蜜ろう	10～15%	8012-89-3					
カルナウバワックス	10～15%	8015-86-9					

濃度限界未満だがSDS作成濃度以上の成分 ：

該当なし

4 応急措置

応急措置の描写

全般的な注意事項 ：

疑わしい場合あるいは症状が現れている場合は、必ず医師に相談すること。

吸入した場合 ：

自分の安全を確保しつつ、被災者を蒸気発生源から遠ざける。医師に相談する。

皮膚に付着した場合

直ちに以下のもので洗浄すること:

水とせっけん

熱い溶解物に触れた際には、（次のもの）で皮膚を手当てすること:

データなし

使用してはならない洗浄液：

データなし

眼に入った場合：

眼科医の手当、診断を受けること。 眼に触れたときは、直ちに瞼を開けた状態で10～15分程度流水で眼を洗浄し、眼科医の診察を受けること。

飲み込んだ場合 ：

無理に吐かせないこと。 口を念入りにすすぎ、医者に相談すること。

飲み込んだ場合、直ちに（以下のものを）飲ませること:

水

応急措置をする者の保護に必要な注意事項：

データなし

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状

以下の症状が表われ得る:

目に入ると、発赤し炎症を起こすことがある。　皮膚に触れると、穏やかな刺激があるかも知れない。　飲み込んだ場合、喉に炎症が出ることがある。　蒸気を吸入した場合、特に症状は現れない。

影響 :

現在のところ有用な情報なし。

医師に対する特別な注意事項 :

現在のところ有用な情報なし。

特別な治療 :

現在のところ有用な情報なし。

5　火災時の措置

消火剤

適切な消火剤 :

アルコール耐性の泡　BC-粉末　二酸化炭素 (CO2)

使ってはならない消火剤 :

棒状注水

火災時の特有な危険有害性

危険有害な燃焼生成物 :

燃焼すると、有毒な蒸気が発生する。

消火作業者へのアドバイス

消火作業者の保護具 :

自給式呼吸器を着用すること。皮膚や目との接触を防ぐために防護服を着用すること。

その他のデータ:

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

6　漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

人体に対する注意事項 :

屋外の場合は、火元の風下側に近づかない。　屋外の場合は、傍観者を風上に誘導し危険な場所に近づけない。　個人保護の詳細については、ＳＤＳの 第8章 を参照すること。

保護具 :

耐油性手袋　保護眼鏡

緊急時の措置 :

すべての発火源を除去すること。　十分に換気をすること。　人々を安全な場所に避難させること。　海上の場合は、オイルフェンスを張り、拡散を防止する。　警察に通報し、すぐに消防署に連絡すること。

環境に対する注意事項 :

泡を用いて蒸気発生を抑制すること。　下水道、あるいは自然水系に流出させないこと。防護壁を用いて流出物を封じこめる。

封じ込め及び浄化の方法・機材

封じ込めに関して

取り除くために適した材質:

砂　珪藻土　土壌、アース

浄化にあたって

希釈あるいは中和のために適した材料:

データなし

他の項を参照 :

個人用保護具：　参照箇所　第8章

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

防護措置

安全な取扱いの為のアドバイス

忌避事項 :

蒸気またはミスト/エアゾールの吸引　エーロゾルあるいは、霧の生成

取り扱い時に充填するガス：

データなし

取り扱い時に充填する液体：

データなし

注意事項 :

ガス/煙/蒸気/エーロゾルを吸い込まないこと。　換気のよい場所でのみ、使用すること。　人身用防護装備を身に付けること（第8章を参照）。　指定数量以上の量を取り扱う場合には、法で定められた基準を満たす製造所、貯蔵所、取扱所で行う。　火花、高温体等の着火源となり得るものを避けるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。　作業場所の換気を十分に行うこと。　閉ざされた空間（部屋）で取り扱かわないこと。　ミストの発生や拡散を避けること。　喫煙は禁止。　火花が発生しない材質の工具を使用する。

火災防止のための措置

湿潤状態を保持するための物質：

データなし

混合禁止物質：

酸化剤

隔離すべき物質：

酸化剤

注意事項 :

発火源から遠ざけておくこと - 禁煙。　周辺火災の場合のため、緊急冷却ができるよう備えておかなければならない。　製品は熱くなると、可燃性の蒸気を発生する。　作業時には、禁煙である。　涼しく換気の良い場所に保管する。容器の蓋はしっかりと密閉する。着火源から遠ざける。容器の近くでは静電気の蓄積を防ぐ。防爆型の照明・電気機器を使用する。

エアゾールおよび粉塵生成を回避するための対策

充填、計量、サンプリング時に使用すべき装置 :

データなし

以下のタイプの局所換気を用いること:

煙/蒸気に対応した排気フード。

環境に対する注意事項 :

参照箇所 第8項。

特定の要求あるいは取り扱い規則 :

データなし

一般的な労働衛生上の注意事項 :

汚れが付着し、濡れた衣服は、直ちに脱衣すること。　皮膚、眼、衣服との接触を避けること。

保管

包装材料

容器または設備向けに適切な材料:

元の容器でのみ保管する （別の容器に移しての保管はしない）。

容器または設備向けには、不適切な材料:

データなし

共同貯蔵に関する注意事項

保管分類 ：

分類対象外

混触禁止物質 ：

酸化剤

保管条件に関するその他情報 ：

鍵をかけて保管すること。 容器は密閉し、換気のよい場所で保管すること。 容器は元のものに限り、涼しく換気のよい場所に保管すること。

8 ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

ばく露限界値：

成分	CAS NO.	国	許容濃度		最大許容濃度	
			mg/m3	ppm	mg/m3	ppm
トルエン	108-88-3	JP	188	50		

生物学的限界値 ：

成分	CAS NO.	国	単位	限界値	パラメータ
トルエン	108-88-3	JP	mg/L	0.06	toluene

ばく露制御

設備対策

最初に： 第7章を参照すること。

物質/混合物の使用中におけるばく露防止の関連対策 ：

換気（窓やドアを開ける）が必要。

ばく露を防ぐための技術的な対策：

十分な換気が可能な場所で使用すること。

個人用保護具

眼の保護具

適切な眼の保護:

保護眼鏡

注意事項:

非常用に、目の洗浄設備を備えること。

手の保護具

適切な手袋の種類:

保護手袋の着用

適した材料:

PE（ポリエチレン） NR（天然ゴム 、天然ラテックス） CR（ポリクロロプレン 、クロロプレンゴム） NBR（ニトリルゴム） ブチルゴム FKM（フッ化ゴム）

要求される特性:

耐油性

注意事項:

データなし

皮膚及び身体の保護具

適切な保護具:

防護服

要求される特性:

難燃性

推奨される材料:

データなし

呼吸用保護具

呼吸用保護具が必要なケース：

不十分な換気。 より多くの量の取り扱い。 エアゾールあるいは、霧の生成。

経験的に呼吸用保護具が必要な作業：
データなし
適切な呼吸用保護具:
自給式呼吸器
注意事項：
緊急時に備えて、自給式呼吸器を備えておく。

環境ばく露管理

ばく露を防ぐための技術的な対策
排気ガス洗浄に用いるフィルターのタイプ ：
データなし
排ガス洗浄に用いる再生・削減技術 ：
データなし
排水に適用する化学処理方法 ：
データなし

9 物理的及び化学的性質

物理状態	ペースト状
色	オフホワイト
臭い	特徴的な臭気
融点/凝固点	データ無/データ無
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データ無
可燃性	有り
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データ無
引火点	23-55℃
自然発火点	データ無
分解温度	データ無
pH	約7
動粘性率	粘性
溶解度	非水溶性
n-オクタノール/水分配係数（log値）	データ無
蒸気圧	データ無
密度及び/又は相対密度	データ無
相対ガス密度	データ無
粒子特性	非該当

10 安定性及び反応性

反応性 ：
推奨される保管条件および輸送条件では安定である。
安定性 ：
通常の状態および室温では安定である。
危険有害反応可能性
溶融した場合:
引火の危険性
気化した場合:
引火の危険性
凍結した場合:
データなし
避けるべき条件
乾燥状態:
データなし
隔離された状態：
データなし
微細分散/噴霧/ミストの状態 ：
引火の危険性

暖めた場合:
高温は避けるべきである。　加熱して分解すると、刺激性の煙と蒸気が発生する。

光が影響する場合:
直射日光は避けるべきである。

衝撃や圧力の影響を受けた場合：
データなし

空気流入の場合:
データなし

貯蔵時間を超えた場合:
データなし

貯蔵温度を超えた場合:
高温になると引火性ガスが発生する。

混触危険物質

避けるべき物質:
強酸化剤　強酸

危険有害な分解生成物　:
熱分解により、刺激性の気体や蒸気が放出する可能性がある。　燃焼した場合、有毒な蒸気が発生する。

追加情報　:
現在のところ有用な情報なし。

11 有害性情報

毒性学的影響に対する情報　:

急性毒性　吸入（蒸気）
トルエン(区分4)LC50 4800ppm
皮膚腐食性/刺激性
トルエン(区分2)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
トルエン(区分2B)
生殖毒性
トルエン(区分1A)

特定標的臓器毒性（単回ばく露）
トルエン(区分1)/トルエン(区分3（気道刺激性））/トルエン(区分3（麻酔作用））
特定標的臓器毒性（反復ばく露）
トルエン(区分1)

誤えん有害性
トルエン(区分1)

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係する症状

経口摂取の場合　:
喉に炎症が起こるかもしれない。

皮膚接触の場合　:
接触部位に穏やかな刺激があるかもしれない。

吸入した場合　:
蒸気、ミストあるいは煙の濃度が高い場合は吸入すると有害になることがあるので、それらの吸入を避けること。

追加他情報　:
短時間のばく露で、直ぐに症状が現れる。

12 環境影響情報

生態毒性 ：

108-88-3、トルエン：
藻類：Chlorella vulgaris(クロレラ)EC50(mg l)245(24-h) Scenedesmus subspicatus(セネデスムス)EC50(mg/L)160(48-h)Selenastrum capricornutum(セレナストラム)EC50(mg/L)> 433(96-h)： 甲殻類：Daphnia magna(オオミジンコ)EC50(mg/L)19.6(48-h)：遊泳阻害 魚類：Brachydanio rerio(セブラフィッシュ)LC50(mg/L)25(48-h)Cyprinodon variegatus(シープスヘッドミノー)LC50(mg/L)13(96-h)Gambusia affinis(カダヤシ)LC50(mg/L)1,180(96-h)Lepomis macrochirus(ブルーギル)LC50(mg/L)24(96-h)Poecilia reticulata(グッピー)LC50(mg/L)59.3(96-h) その他Photobacterium phosphoreum(発光細菌)EC50(mg/L)19.7(30-min)

残留性・分解性 ：

108-88-3、トルエン：
好気的：良分解(化審法)2 週間で100mg/L BOD から算出した分解度は112～129% 嫌気的：報告なし。 非生物的：OH ラジカルとの反応性；
対流圏大気中では、速度定数 = 6.1×10-12 cm3/分子・sec12)、OH ラジカル濃度 = 5.0 ×105～1×106 分子/cm3 とした時の半減期は1～3 日と計算される。

生体蓄積性 ：

108-88-3、トルエン：
蓄積性なし。

土壌中の移動性 ：

土壌にすぐに吸収される。

オゾン層への有害性 ：

108-88-3、トルエン：
該当せず

追加環境毒性学情報：

この製品は、PBT/vPvB物質として認識されていない。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

製品/包装材料の廃棄

危険有害性をもたらす廃棄物の特性 ：
SDSの 第11章、第12章 を参照のこと。

廃棄物処理方法のオプション

適切な廃棄方法/残余廃棄物 ：
適切な容器に移し、専門の廃棄業者に引き渡すこと。

適切な廃棄処理/汚染容器と包装 ：
汚染された包装は、物質そのものと同様に扱うこと。

注意事項 ：
当局の規定に従って処分すること。

14 輸送上の注意

国連番号

陸上輸送 (ADR/RID)	1263
内陸水運 (ADN)	1263
海上輸送 (IMDG)	1263
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	1263

国連輸送名

陸上輸送 (ADR/RID)	Paint
内陸水運 (ADN)	Paint
海上輸送 (IMDG)	Paint
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	Paint

国連分類

陸上輸送 (ADR/RID)	3
内陸水運 (ADN)	3
海上輸送 (IMDG)	3
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	3

容器等級

陸上輸送 (ADR/RID)	I
内陸水運 (ADN)	I
海上輸送 (IMDG)	I
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	I

環境に対する有害性

陸上輸送 (ADR/RID)	非該当
内陸水運 (ADN)	非該当
海上輸送 (IMDG)	非該当
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	非該当
MARPOL 条約73／78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送	非該当
海洋汚染物質	非該当

国内規則がある場合の規制情報

陸上輸送： 消防法、毒物及び劇物取締法、高圧ガス保安法に従う。
海上輸送： 船舶安全法、港則法に従う。
航空輸送： 航空法に従う。

15 適用法令

毒物及び劇物取締法： 本製品は毒物及び劇物取締法の毒物及び劇物には該当しない

労働安全衛生法第57条に基づく表示：
トルエン;

労働安全衛生法「通知義務」に該当する成分：
トルエン;

労働安全衛生法　特定化学物質障害予防規則：
該当せず

労働安全衛生法　有機溶剤中毒予防規則：
本製品は第2種有機溶剤又は第2種有機溶剤等に該当する。

労働安全衛生法　がん原生に係る指針対象物質：
該当せず

労働安全衛生法　強い変異原性が認められた化学物質：
該当せず

労働安全衛生法　鉛・四アルキル鉛中毒予防規則 ：
該当せず

化学物質管理促進法（PRTR） ：
PRTR 第一種：
トルエン；

消防法：
危険物：危険物第四類 第一石油類 危険等級Ⅱ 非水溶性

化審法：
優先評価化学物質：
トルエン 3-2；

水質汚濁防止法：
指定物質：108-88-3、トルエン；

土壌汚染対策法：
該当せず

特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律：
該当せず

危険物船舶運送及び貯蔵規則：
引火性液体類 3

航空法施行規則：
引火性液体 3

16 その他の情報

参考文献：
JISZ 7253-2019_GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル・作業場内の表示及び安全データシート（SDS）、
JIS 7252-2019_GHSに基づく化学物質等の分類方法、
Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals(GHS) 6th revised edition by UNITED NATIONS、
緊急時応急措置指針「ERG 2016版」容器イエローカードへの適用、
経済産業省発行事業者向けGHS分類ガイダンス平成25年7月、
独立行政法人製品評価技術基盤機構監修のGHS分類物質一覧、
一般財団法人化学物質評価研究機構（CERI)公開の化学物質ハザードデータ集。

責任の限定について：
本記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成して　おりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。本製品を扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じてください。尚、本製品安全データシートは安全や品質の保証書ではありません。